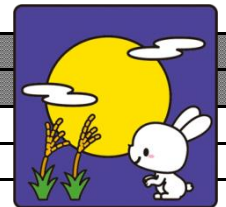


# 9月の主な行事予定



日	曜日	内容	放課後遊び
1	木	始業式 給食始 避難訓練(6校時集団下校) ふれ合い週間	×
2	金	安全指導 水曜時程	○
3	土		
4	日		
5	月	5時間授業 水曜時程 発育測定(低) 個人面談① 夏休み作品展	○
6	火	5時間授業 水曜時程 発育測定(中) 個人面談② 放課後鼓隊	○
7	水	5時間授業 水曜時程 発育測定(高) 個人面談③	○
8	木	5時間授業 水曜時程 個人面談④ あしたば宿泊	○
9	金	5時間授業 水曜時程 個人面談⑤ 国際理解集会 ↓	○
10	土		
11	日		
12	月	委員会	○
13	火		○
14	水	3年研究授業(5時間授業) 3年生以外4時間授業	×
15	木	放課後鼓隊 BUSHI舞練習(中休み)	○
16	金	5時間授業 水曜時程	×
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火	放課後鼓隊	○
21	水	6時間授業 水曜時程	×
22	木		
23	金		○
24	土	島民祭り	
25	日		
26	月	6時間授業	○
27	火	水曜時程 運動会係活動①	○
28	水	水曜時程 運動会全校練習①	○
29	木	放課後鼓隊 BUSHI舞練習(中休み)	○
30	金	セーフティ教室(1~3年3時間目、4~6年4時間目) 食育朝会	○



- 【生活指導目標】 規則正しい生活をしよう
- 【安全指導目標】 交通事故に気をつけよう
- 【保健指導目標】 生活のリズムをととのえよう
- 【給食指導目標】 食べ物と健康について知ろう



## 学びの庭

No. 102 9月号  
平成28年9月1日  
新島村立新島小学校  
学校だより

### 「竹の奇跡」

校長 加藤 謙二

今日から二学期です。始業式では、「新しい気持ちでがんばるぞ」ときらきらと瞳が輝いている子が多く、とてもうれしかったです。きつと充実した夏休みを過ごすことができたのでしょう。そして、学期始めを迎えるにあたり、「二学期にがんばりたいこと」をしっかりと決めてきたのでしょうか。二学期も運動会や学芸会、創立一四〇周年記念行事等々、行事がたくさんあります。慌ただしさに紛れて取り組まなければならないことで難にならないよう、子供たちが清々しい気持ちで二学期の学校生活を送り、学習も生活もしっかり取り組めるように、よりきめ細やかな教育活動に取り組んで参ります。今学期もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今回は、「中国の竹の話」をします。

(参考) スティーブン・R・コヴィー 著『7つの習慣』

中国のある種の竹はたねを蒔いてから四年間、小さな芽が出るだけで、何一つ成長が見られないそうです。

この竹は成長が遅いのでしょうか。いいえ違います。実はその四年間という時間のすべてが、根が土中に深く広く張っていくこ

とに使われていたのです。土の中の出来事なので誰も目にできません。しかし、竹は、見えないところで着実に成長していたのです。その証拠に翌年の五年目になると、竹は一気に二十五メートルも伸びるのです。

誰でもそうですが、どんなに学習しても、いくら練習しても何も成長が見えてこないときがあります。

しかし、そこで諦めることなく、辛抱強く努力を続けていければ、この「奇跡の竹」のようにしっかりとした成長が見られる「五年目」は必ずやってくる、という話です。

この話を読んで、私は次のメッセージを送りたいと考えました。

まず、「子供たちに」です。『結果が出ないときに簡単に諦めてはいけません。今は未来の自分に向けて準備をしている時期です。そう自分に言い聞かせ、小さな努力をその後も積み重ねていきましよう。』

次に、「本校の教員に」です。『見えづらいことかもしれないけれども、子供の根の張りようをしっかり見ようとする教師であってほしい。また、自分自身も努力し続ける人でいて、子供のお手本になってほしい。』

最後に、「保護者、地域の皆様」です。『保護者、地域の皆様、子供の「五年目」をいっしょに見届けましょう。そして、子供の成長と共に喜び合いましよう。』



# 最近の行事より



## 遠泳大会を終えて

遠泳担当 土橋 弘明

八月二十七日、新島小学校の恒例行事である遠泳大会が行われました。子供たちは、夏休み前半の水泳指導で各自の泳ぎを磨き、上達させてきました。後半は台風の影響が心配されましたが、天候に恵まれ、実際に海で隊列を組み、海の中を泳ぐ練習を行いました。大会当日は、日頃の練習の成果を出し切り各コースを完泳することができました。隊形を保つには友達との泳ぎをよく見なくてはなりません。自分が泳ぎきることほもちろんですが、みんなで泳ぐことが、遠泳の大切な目標の一つになっています。隊列から遅れてしまった子供たちも仲間からの声援を受けて最後まで泳ぐことができました。どの子も満足そうな顔で閉会式を迎えることができ、本当によかったなと嬉しくなりました。



海練習や遠泳大会での側泳ボランテイヤ、救助艇の協力、PTA学年部の皆様を中心とした事前準備や当日のお手伝い、また保護者の皆様の当日の温かい応援や御理解、御協力に深く感謝いたします。シーバード新島の皆様、新島ライフセイビングクラブの皆様にも御協力いただきました。皆様の協力なしでは遠泳の成功はなし得ないものだと思っております。本当にありがとうございます。来年もよろしく願います。

# 学期の取り組み

## 一学期を終えて

一年担任 中村 優子

「今日の字は何かな。」「自分の名前に入っているのがいいな。」黒板のめあてを読み、「今日は、はらいに気を付けるんだって。じゃあ『し』かな。」等々、子供たちが口々につぶやき「本日の平仮名」を予想します。これが一学期、平仮名学習前のいつもの後景です。練習では、初めて習ったのですから、当然思うように形が取れません。一生懸命に書き順に気を付け、めあてに気を付けて書けば花丸。でも、一年生にとってはそうではないようです。子供たちは、教科書に出てくる字そっくりに書きたい、担任が書くように、ドリルのお手本のように書きたい、今より上手になりたいという思いを強くもち、実際、納得のいくまで何度でも書き直していました。アドバイスをするとうすぐに取り入れ、練習に取り組む様子も見られました。

そんな様子から、二学期も、子供たちの意欲を大切にしながら、様々な場面で様々なことに、たくさん挑戦させ、自分の可能性を広げていけるようにしたいと考えています。もちろん、「一年生」ということを考慮して伝えたり、挑戦させることを選んだりする必要もあります。また、子供たち自身は挑戦する中で失敗もして落ち込むこともあると思いますが、それでも、学校生活スタートと同時に「成長したい、できるようにになりたい。」という気持ちを持ち続けられるよう、子供たちが実際に実感できた時の喜びを味わえるように精一杯支援していきたいと思っております。二学期も御協力をお願いいたします。

## 一学期の思い出 若郷キャンプ

四年担任 大島裕史

四年生の子供たちがとても楽しみにしていた行事「若郷キャンプ」。今年度は梅雨の時期と重ならないよう、例年より一か月早い五月二十七日(金)～二十八日(土)に行いました。

若郷キャンプ当日。「楽しみ♪」「早くキャンプしたい!」…教室は朝からワクワクと笑顔であふれていました。若郷会館に着いてからの子供たちは、とても頼もしかったです。学校で二か月間練習してきた成果を最大限に発揮してくれました。テント張りでは仲間同士声をかけ合いながら上手に張りました。食事作りでは皆で協力し、御飯やカレー、たたき汁、明日葉の胡麻和えを作りました。「おいしい!」「もっと食べたい!」と明るい会話が飛び交うほどでした。自分たちで計画したキャンプファイヤーや肝試しもとても盛り上がり、ステキな思い出になりました。浜の清掃や朝食作り、片付けと、最後までてきぱきと行うことができたことに、担任の私もとても感心しました。帰りのバスの中で、子供たちから「もう一回やりたい!」「最高の思い出になった!」という声がたくさん出たことが、今回の若郷キャンプの成功を物語っていたように感じます。

今年度の若郷キャンプでも、たくさん地域のの方々、保護者の方々に御協力いただきました。そのお陰で、無事若郷キャンプを終えることができました。ありがとうございます。来年度も新四年生が若郷キャンプを行う予定です。来年度もよろしく願っています。

## 一学期を終えて

二年担任 吉田 詩文

「まだ当番さん、窓開けて!」「健康かんさつカード取りに行ってください!」「やったー!今日、クラス遊びの日だ!」二年生教室は、毎日朝からにぎやかです。九名という少人数の二年生。しかし、どこの学年にも負けない元気で明るい学年です。毎日の当番活動はグループではなく、それぞれが週替わりで役割を交代しながら、いろいろな活動に携われるようにしています。

係活動では、決められた活動を行うのではなく、「もっと楽しいクラスにするためにできること」を探しながら、内容も自分たちで考えて活動をしています。「トンボ(クラスで羽化した)の種類を图鉴で調べてポスターにしてみよう」「走るのが苦手な人も楽しめるルールがいいよ。」など、係ごとに自分たちの活動をより豊かなものにしようと話し合い、試行錯誤する姿は、とても生き生きしています。

ときどき、一生懸命なあまり、周りの友達との考え方の違いでケンカも起こりますが、そうしたときはゆつくりと、相手の考えを聞き、自分の考えと重ね合わせながら折り合いをつける練習をしています。

「自分だけの役割」があることで、九人全員がクラスにとって必要な存在であることを感じ合ってもらいたいと思っております。